

「インターネットと地域振興&地域プロバイダー全国会議@幕張」レポート  
「ホームページ管理者のための「Web マスターガイドブック」(オーム社)」掲載

-----  
「インターネットと地域振興&地域プロバイダー全国会議@幕張」レポート

千葉市幕張においてインターネットと地域振興、地域プロバイダーのあり方をテーマとしたシンポジウムが開かれ、全国各地から地域プロバイダ、地域の情報化の推進者が集まった。2日間にわたる会議の様相をレポートする。

#### ■なぜ、今「地域」なのか

「インターネットと地域振興&地域プロバイダー全国会議@幕張」と題されたこのシンポジウムは、先に紹介した「幕張メディアサーフィン」の開設を記念して、幕張メディアサーフィン協議会および千葉県地域プロバイダー協議会の主催で、4月24日、25日の2日間、千葉県幕張のホテルスプリングス幕張で開かれたもの。

インターネットのはの広がりには地域社会にも大きな影響を与えている。中央から地方へ、都市から町や村へ、これまで情報の流れる経路は事実上一方通行であった。そして、発信元から地理的に遠ざかれば遠ざかるほど、情報の量も質も低下していくのが常であった。しかし、インターネットという世界的なネットワークにおいては、情報の発信元にダイレクトにアクセスが可能となる。物理的な制約を超えた情報の流れには熱い期待が集まっている。

しかし、現実には都市部に比べるとデジタル回線などのインフラが不足していたり、インターネットの普及や啓蒙に十分なだけの人材が乏しい、あるいはインターネット接続事業そのものがビジネスとして成り立ちにくいなど、さまざまな問題がある。参加した人のほとんどは、こうした問題に日々直面する自治体の担当者、あるいは地域社会とインターネットとの接点に立つ地域プロバイダー、インターネット関連企業の関係者であった。

#### ■ここまで来た地域発インターネット

第1日は、まず加藤敏春氏が、「インターネットと地域振興——シリコンバレーと次世代情報都市社会」と題した基調講演を行った。シリコンバレー滞在の経験があり、「シリコンバレー・ウェブ」(NTT出版)という著書もある加藤氏は、同地で誕生した「スマートバレー公社」という組織を例にあげて、今後の情報化社会の発展の核となるのが「地域」であること、また地域を情報化し、活性化するためにはどのような組織が求められているかについて述べた。

次いで、富山県山田村、和歌山県美里町から、インターネット活用事例が報告された。総人口わずか2千人ほどの山田村は、全戸にマッキントッシュを1台ずつ配り、ISDNを引いて村ぐるみインターネットに取り組んでいることがテレビ・新聞などで紹介されているためか、事例報告を行った倉田勇雄氏には壇上を降りてからも質問がよせられていた。和歌山県美里町からは、みさと天文台長尾久土正巳氏が天文台を中心にした町興しを紹介。それぞれの事例については、別稿で詳しくレポートしたい。

午後からは「地域情報化とコミュニティ作り——情報化地域の担い手は誰か」というタイトルでパネルディスカッションが行われ、郵政省の中村氏からは情報化と規制緩和問題について、また安藤氏からは岐阜県の情報化拠点施設「ソフトピア」、横田氏からは「幕張メディアサーフィン」が紹介された。日本のインターネットの牽引的な存在である慶応大学の湘南キャンパスをこの春卒業し、現在もインターネットに関わる仕事を続けている有限会社リセットの渋谷氏は、現代の若者が街に対して抱くイメージ、地元に対する感覚を鋭く表現し、他のパネラーからの質問も集まってい

た。

#### ■生き残りの道を模索する地域プロバイダ

翌 25 日はまず、通信インフラについての事例研究から始まった。NTT の高川氏から NTT のマルチメディアビジネスへのさまざまな取り組みが紹介され、NTT が米国で実用化を旨とす、IC カードを使った家庭用のマルチメディア端末、PDA を近づけるだけでサーバからデータが受け取れるマルチメディア公衆電話などの例に注目が集まった。次いで国際デジタル通信株式会社の西崎氏からは、60 年ぶりに改正された米国通信法の骨子についての報告が行われた。

続いて、若者に人気の Web サイトリクルートの「じゃまール on the net」を運営するリクルート電子メディア事業部の信国乾一郎氏、築地場外市場のページ「築地魚河岸」や、田んぼの稲の成長をインターネット上で観察し、田植えや稲刈りにも参加しながら米のできるまでをバーチャル体験できる「バーチャル田んぼ」のページ運営に参加している画家の井上智香子氏の対談が行われたが、作り手と見る人とのコミュニケーションについて、また、企業として、個人として、目に見える利益がないにも関わらず相当な時間と労力をかけて Web ページを制作する動機は何かなど、Web ページそのもののデモンストレーションを交えた意見交換がなされた。

午後からの総合ディスカッションでは、プロバイダー事業者がパネラーとなって、プロバイダー事業はビジネスとして成り立つのか、今年から本格的に始動する NTT の OCN への対応をどうするかなど、プロバイダが抱えるさまざまな問題が論じられ、司会の中村正三郎氏や会場の聴講者からも活発な発言があった。

最後に「幕張宣言」が発表され、2 日間に及ぶシンポジウムは幕を閉じた。

#### ■モデルケースとしての幕張方式

2 日間のシンポジウムを聞き終えて感じるのは、インターネットには確かに地域社会におけるコミュニケーションのあり方、ひいては地域社会のあり方自体をも変えるだけの潜在的な力がありそうということだ。しかし、一部の地域では、地域社会におけるインターネットの強力な推進者である地域プロバイダが、自治体や NTT などのプロバイダ事業参入によって経営の危機に直面することになったり、あるいは自治体自身がサービスに乗り出しては見たが、実際には十分なサポートもできずにインターネットそのものの評判を著しく落としてしまうといった危惧も持たれている。

こうすれば解決するという明確な答えはまだ誰にもわからないが、千葉県が「幕張メディアサーフィン」という形でいった企業、大学、地域プロバイダとの連携プレーは、ひとつの興味深い提案であるということだけは言えるだろう。

(デジタルメディア研究所主任研究員 上田純美礼)

※

表：「インターネットと地域振興&地域プロバイダー全国会議@幕張」プログラム

●4月24日

開会式

開会挨拶 伊藤〇〇（千葉県企業庁長）

基調講演 「インターネットと地域振興—シリコンバレーと次世代情報都市社会」

加藤敏春（金融検査監督庁設立準備室主任室長・前通産省貿易調査課長）

事例報告 1 「富山県山田村の村興しとインターネット」

倉田勇雄（山田村パソコンリーダー）

事例報告 2 「和歌山県美里町の場合」

尾久土正巳（みさと天文台長）

パネルディスカッション 「地域情報とコミュニティ作り—情報地域社会の担い手は誰か」

箕原敬（都市プランナー）

安藤隆年（岐阜県商工労働部参与・（財）ソフトピアジャパン副理事長）

中村伊知哉（郵政省総務課長補佐）

渋川直子（有限会社リセット）

横田正文（千葉県企業庁）

●4月25日

事例研究1 通信インフラの将来像

高川雄一郎（NTT マルチメディアビジネス開発部担当部長）

西崎三浩（国際デジタル通信（株） 第一

事例研究2 人気サイトの研究・これからのコンテンツ開発

信国乾一郎（（株）リクルート ジャーナル on the net 編集部）

井上智香子（画家）

総合ディスカッション 「地域振興とプロバイダーの役目」

司会・中村正三郎（（株）ソフトヴィジョン）

柳田豊一（近畿プロバイダー連絡会議）

松阪義晃（日本地域プロバイダー運営協議会）

川津光雄（千葉県地域プロバイダー協議会）

石原垂矢（SSK&RCY（株））

亀田武嗣（デジタルメディア研究所）

幕張宣言 「幕張方式のプレゼンテーション」

千葉滋胤（幕張メディアサーフィン運営協議会会長）

写真：（ディスカッションの様相）

総合ディスカッションでは、地域プロバイダーと自治体の関係や、インフラとしてのISDNについてなど活発な意見が交換された。

囲み：幕張宣言

「幕張宣言」

1997年4月24、25日。私たちは、地域振興とインターネットをテーマに全国各地から、自治体関係者、インターネット関連企業、地域プロバイダー、その他有志の方々に結集いただき、これからの情報システムと地域のあり方を多様な視点から議論してきました。

ここで展開された議論の筋道や、多くの人的出会いが、必ずや新しい可能性に向けての動きを推進する力となるであろうことを確信いたします。

そして、同時に開設された、幕張メディアサーフィンは、ここにお集まりいただいた皆様方の御協力・御指導によって、インターネットの新しい動きの先兵となりたく願っております。

「地域プロバイダー全国会議@幕張」のシンポジウム終結にあたって、以下の宣言を行います。

一、私たちは、開かれた環境の中で、同じ問題を共有する多くの方々と連携しながら、インターネットのあらゆる可能性を追求します。

一、私たちは、人々のより良き生活と地域活性化の重要な手段の一つとしてインターネットを位置づけ、多くの方々と連携しながら地域情報発信とインターネット環境との有機的な結合のための、環境整備に努めます。

一、幕張メディアサーフィンは、幕張新都心におけるひとつの実験場であり、産学官の協力のもとに新しい時代のコミュニティ・センターを目指します。

1997年4月25日

「地域プロバイダー全国会議@幕張」主催者

幕張メディアサーフィン運営協議会

会長 千葉滋胤

※

添付資料：なし

コメント：デジタルメディア研究所として発表した原稿です。